

さんさ踊りの由来とされる 鬼の手形伝説がテーマのからくり時計

盛岡の夏の風物詩
さんさ踊りで訪れる人々を出迎える
これが「岩手」の名の由来



『このからくり時計は、盛岡の夏の風物詩である「さんさ踊り」発祥の言い伝えをテーマにしています。その昔、鬼が悪さをして人々は困っておりました。そこで神様が鬼をこらしめ、鬼はもう悪さをしないと約束の手形を岩に押して退散しました。これが「岩手」の名の由来といわれており、名須川町の三ツ石神社にある三つの巨岩には、このときの鬼の手形だといわれる、うっすらと大きな手の形をみるることができます。

案内板より

からくり時計は、毎日9時00分から18時00分まで1時間おきに鳴り響きます。

